



昭和26年1月の新津駅前。市制施行を祝って
まちの要所にはアーチがたてられました

市制施行 三十周年

人間にたとえれば

充実の成年期へ

「30にしてたつ」という言葉がありますが、新津市もこの1月1日で、町から市になって満30年を迎えました。人間にたとえれば、青年期からいよいよ充実の成年期へという年頃です。

今号は「市制施行30周年」を記念して、26年当時の思い出、なつかしいあの頃の写真、それに市制施行から現在までの主なできごとなどを特集で組んでみました。

まちづくりは 息の長い作業

新津が市制を施行したのは、昭和二十六年一月一日でした。当時県内には新潟、長岡、高田、三条、柏崎、新発田の六市があり、新津はこれらに次いで県下七番目に市になったわけです。そのときは人口約三万七千人、面積約三十九平

方キロと記録されています。その後、昭和三十年四月に金津村、小合村を合併し、三十二年三月には新関村の大部分を合併して、ほぼ現在の市域が形づくられました。ところで市役所に、当時県へ提出した「新津市設置申請書」の写しが残っています。その中、なぜ市制を施行するのか、その理由があげられています。簡単に紹介する

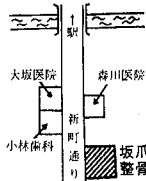
と、次の三つの理由から市制を施行したい、としています。①近隣農村との連絡協調をはかって合理的な大文化都市にしたい ②秋葉山のある新津を浦原平野の緑地帯と都市周辺の住宅地帯とを整備したい ③明朗で平和、しかも豊かな都市をつくり、対外的な信用を高めた。そして今後は、衛生施設の拡充、社会施設の整備、道路・下水の完備、農業施設の拡充に全力を傾け、計画性のある健全な自治体として飛躍したいと結ばれています。

お買物、ご用命は市内で

駐車場完備

ほねつぎ
坂爪整骨院

新町1 20062



志田市長(六十七歳)が、このたび長期病氣加療のため辞任(十二月十三日付)勇退されました。志田市長は、さる八月三日脳内出血で倒れ、以来新潟市の桑名病院に入院・加療を続けているもので、ご

半ばにしてこのたびの勇退となったものです。なお志田市長は、昭和四十五年から三十四年、市勢発展のため大変なご尽力をされました。市民のみなさんと共に一日も早いご回復をお祈りしたいと思います。

あけましておめでとうございます
ニイツ銘菓 霞かこい
駿河屋
ニイツ本町2 TEL(2)0543
銘菓・雪太郎・松坂半かん
田家屋
ニイツ本町4 TEL(2)0430



市民のみなさん、あけましておめでとうございませう。ここに希望に満ちた新春を迎えるにあたり、みなさんのご清福とご繁栄を心からお祝い申し上げます。

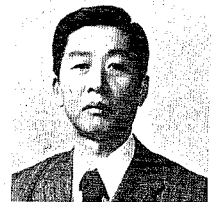
市議会も皆様方の与望と付託をになつて早くも任期の半ばを迎えつつありますが、私は市議会議長として常に皆様の声を市政に反映させることを第一に、過去の経験を生かしながら公正円満な議会運営に努力を重ねてまいりました。おかげをもちまして大過なく越年することができました。このことを衷心からお礼申し上げます。

一致協力して 市勢の前進へ

昭和五十六年元旦
新津市議会議長
栗原 富義

なことに市政の責任者であります志田市長の長期にわたる入院加療が続いており、市当局、議会がともに協力し、市政に停滞を生じることのないよう最大限の努力をいたす所存であります。どうか本年も変わらぬご支援、ご協力をお願い申し上げます。皆様のご多幸をお祈りいたしまして、ごあいさついたします。

飛躍



あけまして、おめでとうございませう。輝かしい八一年の新春を迎え、市民の皆様方のご健勝を心からお祝いし、市政にひとかたならぬご理解とご支援をお寄せいただいております。ご承知のように今年には、新津市が市制をいて三十周年という、記念すべき年を迎えました。昭和二十六年、県下七番目にウブ声をあげてから、幾多の試練を克服し、旧来の様相を一変しつつ、着実に市勢躍進を続けておりますことに感慨の念ひとおぼす。ところで昨年は、志田市長が歳半ばで病に伏して、予期せぬ事態に直面しました。市政運営に大きな支えを失い、それは極めて厳しく苦しいものであります。三十四年、志田市長の未来に生きるまちづくりが着々と成りつつあるとき、健康を打ち砕かれたしのびない気持ちを考えます。誠に胸の痛みを思いますが、その施策の核を市民各位のあたたかいご感情に支えられながら、皆さんと共に一つづつ進められたことで、懸案を抱えながらも所期の成果を引継ぎ得たといえる一年にすることができました。市道・農道の舗装、改良を始め、秋葉公園や下水道など市民の喜びを広げ、安らぎを深める生活の場整備に、力強いツチ音を響かせました。また、福祉や健康対策の充実をはじめ、武道館・斎場のオープンを始め、小・中学校校舎、保育所の増・改築など、教育環境と施設の充実を念願し、精力的に取り組まれました。しかしながら景気などの停滞から、いま六万三千余市民の努力と知恵をしりめ、に、産業面で大きな波をかぶっています。農業での転作、あるいは商工業に押し寄せ、不況の波です。このため、少しでも市民の皆さんに役立つ施策は、思い切つて実行しなければなりません。私の職責をふまえて、今年の市制三十周年をステップに、市勢の一層の飛躍発展にお手伝いしたいと考えています。

30周年迎えて 一層の飛躍を

西年の新春は「国際障害者年」でもありました。あたたかい心から奉仕の心と活力を生み出して、豊かな明日へスタートです。今年もよろしくお祈りいたします。

一九八一年元旦
新津市長職務代理者
新津市助役 斎藤 富雄

人口の動き (55.12.1現在)	■人口63,293 (+17)	男30,859・女32,434	■世帯数16,074 (+28)	■11月中のうごき
	□出生56	□死亡40	□転入136	□転出135
			□転居187	□世帯変更52
				□結婚78
				□離婚6